

コンピュータ室の改称の提案

近年、世間では「国際化(**internationalization = i18n**)」が叫ばれていますが、忘れてはならないもう一つの重要なものがあります。それは、「地域化(**localization = l10n**)」です。

外国の文化を取り入れることを例にとると、外国の文化との垣根をなくすことが **i18n** であり、外国の文化を自国の文化にあわせた形で自分のものとするのが **l10n** です。

是迄、日本では **i18n** だけが先行し、**l10n** がおろそかにされてきた面がありましたが、今では各分野で **l10n** が叫ばれています。

電子機器の分野も例外でなく、「片仮名言葉」を増やし続けてきたことを反省し、日本語での言葉に置き換える **l10n** が進んでいます。

「コンピューター」という言葉も、日本語として「電子計算機」、或いは略して「電算機」、または中国語より採り入れた「電脳」が徐々に使われだしてきました。

さて、奥中でも外国の方との交流や外国人の生徒の存在により、**i18n** は進んでいると言えますが、**l10n** は必ずしも進んでいるとは思えません。

そこで、奥中における **l10n** の第一歩として、「コンピュータ室」の改称を提案したいと思います。**i18n** の先端に行く電子機器に関係するこの部屋の改称は、**l10n** を進める上での先駆け的存在となることでしょう。また、校歌にも「世界へ進む先頭」と歌われている奥中にとって、非常に意義のあることだと思えます。

- A 案 「電子計算機室」
- B 案 「電算機室」
- C 案 「電脳室」